

(書式 1 - 3 - 1)

建築紛争調停申立書

調 停 申 立 書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇簡易裁判所 御中

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申立人 〇 〇 〇 〇 印

建物一部除去請求調停申立事件

1 当事者の表示 別紙のとおり

1 申立の趣旨・理由 別紙のとおり

1 証拠方法・添付書類 別紙のとおり

調停事項の価額 金〇〇〇円

貼用印紙額 金〇〇〇円

予納郵便切手額 金〇〇〇円

当事者の表示

〒〇〇〇－〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申立人 〇 〇 〇 〇

〒〇〇〇－〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

相手方 〇 〇 〇 〇



申 立 の 趣 旨

相手方は、申立人に対して、申立人土地に侵入しているベランダの一部及びクーラー設備を除去し、相手方の土地内に設置することを求める。

との調停を求めます。

申 立 の 理 由

- 1 申立人は、〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇の土地（以下、申立人土地という）及びその土地上に建物を所有しています。相手方は、申立人土地の北側に接する〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇の土地を所有し、その土地上に建物を所有しています。
- 2 相手方は、平成〇〇年〇〇月頃から、相手方土地上の建物の南側に増築工事をしました。申立人は、相手方の建物が申立人土地に入り込んでいるのではないかと専門家に測量を依頼したところ、相手方の増築建物のベランダ及びクーラー設備（室外機）が、約１０センチ程、申立人土地に侵入していることが判明しました。
- 3 そこで、申立人は、相手方建物の侵入部分の除去を求めて、本調停の申立てに及ぶ次第です。

以上

添 付 書 類

土地登記簿謄本（申立人土地、相手方土地）	2 通
測量図	1 通

以上

解説

（管轄裁判所）

相手方の住所、居所等の所在地を管轄する簡易裁判所のほか、紛争の目的である宅地、建物の所在地を管轄する簡易裁判所に対しても申立てることができる（民事調停法第24条）。

（申立の趣旨）

相手方の建物が申立人土地に侵入しているため、その除去を求める調停申立ての記載例。

（申立の理由）

- 1 申立人と相手方の土地の位置関係の説明。
- 2 相手方の建物がどの程度申立人土地に侵入しているのかにつき、専門家の測量をもとにして説明する。

（その他）

相手方の建物建築が、申立人の土地に侵入していることや、建築基準法に違反することなどが判明したときは、緊急性があるので、建築工事の中止などを求める仮処分を検討すべきである。